

本会の活動から

「Tokyo健康ウォーク2025」に協力

ウォーキングコースを歩きながら、大腸がんについて楽しく学ぶ、東京都大腸がん検診普及啓発事業「Tokyo健康ウォーク2025」（主催 東京都、ブレイブサークル運営委員会）が2025年11月24日に町田市で開催された。町田シバヒロをスタート・ゴール会場として、約5キロまたは約8キロのコースを歩く参加型イベントで約1300人が参加。本会は、40歳以上の希望者を対象とした「無料大腸がん検診」に協力し、561人の便潜血検査の検体を受け付けた。

▲Tokyo健康ウォーク2025



せ会を開催した。

予防医学事業中央会 令和7年度全国業務研修会に参加

令和7年度全国業務研修会（主催 予防医学事業中央会、ちば県民保健予防財団）が2月12～13日、千葉県浦安市で開催された。この研修会は、各支部の現状や問題点を検討し、情報交換を行うことで、健診・検査やサービスのさらなる向上につなげることを目的とし、全国支部の業務渉外担当職員を対象としている。本会からは、理事長の久布白兼行、健診事業部長の廣瀬篤史と同部の職員3人、施設健診事業部の職員1人が参加した。

予防医学事業中央会 令和7年度保健指導研修会に参加

令和7年度保健指導研修会（主催 予防医学事業中央会）が2月19～20日、東京都新宿区で開催され、本会からは、健康増進部長の加藤京子と同部の職員2人が参加した。このうち、健康増進部健康増進課の山本絵莉が



▲全国業務研修会



▲全国予防医学技術研究会

東京都島しょ部の学校検診に協力

東京都島しょ部を対象とした2025年度の学校検診のうち、大島町の脊柱側弯症検診が1月26日に大島つつじ小学校、27日に大島さくら小学校を会場として行われ、本会が協力した。

令和7年度東京都先天性代謝異常等 検査連絡協議会が開催

新生児の先天性代謝異常等検査を円滑に実施するため、実施主体である東京都福祉局と採血業務を担う東京都内の産科医療機関、検査業務を担う本会、東京都医師会ら関連団体、治療にあたる専門医が集い、さまざまな問題点や課題を検討する連絡協議会が毎年開催されている。令和7年度の協議会は2月3日に開催され「2024年度検査実績」や「拡大スクリーニングにおける精査医療機関について」などを議題に検討が行われた。本会からは、理事長の久布白兼行、理事の矢島晴美、黒田聡史の他、健診事業部と母子保健検査部の職員13人が参加した。

予防医学事業中央会 第59回全国予防医学技術研究会に参加

第59回全国予防医学技術研究会（主催 予防医学事業中央会、山口県予防保健協会）が3月5～6日、山口県山口市で開催された。同研究会は健診・検査技術の研鑽、精度向上等の集団健診技術の向上を目的として、毎年1回開催されている。本会からは、理事の矢島晴美、健康増進部長の加藤京子、母子保健検査部長の石毛信之、同部職員1人、検診検査部の職員4人が参加した。このうち三井佳澄が「東京都におけるライソゾーム病スクリーニング公費化の成果と今後の課題」、豊田由紀子が「脊柱側弯症1次検診における測定機（現行機と試作機）の検討」をテーマに発表した。また、大平咲子が中央会精度管理

管理委員会として「HbA1c令和6年度精度管理結果報告」を行ったほか、石毛信之、大平咲子、加藤京子がそれぞれの分野で座長を務めた。

学術集会への参加等

●第35回日本乳癌検診学会学術総会が11月28～29日、高知県高知市で開催され、理事長の久布白兼行、健診事業部長の廣瀬篤史の他、同部の職員2人、検診検査部の職員2人が参加した。

東京都新生児スクリーニング コンソーシアムが開催

新生児スクリーニングの課題を協議し、「オーレル東京」で取り組むための「東京都新生児スクリーニングコンソーシアム」の会合が3月17日に開催された。会合には関連団体や東京都福祉局の担当者、治療にあたる専門医、本会理事長の久布白兼行、理事の矢島晴美、黒田聡史の他、健診事業部と母子保健検査部の職員5人が参加した。

医師・看護師のミーティングを開催

本会では新年度を前に、医師、看護師を対象として、健診現場で起こるさまざまな問題を話し合い、関係者間の共通理解を深めて健診の精度やサービスの向上を図ることを目的としたミーティングを行っている。2月6日に開催された「ナース・ミーティング」には26人が、3月7日に開催された「ドクターズ・ミーティング」には35人が参加した。ミーティングには、健診に携わる医師、看護師の他、関連する部署の担当者も参加した。

学校における心臓検診・腎臓検診の 打ち合わせ会を開催

本会では新年度に先立ち、学校における検診が円滑に行われるよう、検診の診察や診断を担当する医師、検診検査部、健診事業部などの関係者による打ち合わせ会を行っている。今年度は、3月6日に腎臓検診、3月10日に心臓検診の打ち合わせ

第64回日本臨床細胞学会秋期大会が11月29～30日、広島県広島市で開催され、理事長の久布白兼行、検査研究センターセンター長の藤井多久磨、母子保健検査部の職員2人が参加した。

●YOKOHAMA遺伝カンファレンス2026が1月24日、神奈川県川崎市で開催され、母子保健検査部長の石毛信之の他、同部の職員1人が参加した。このうち石毛信之はランチョンセミナーで「東京都における新生児スクリーニングシステムの強化——対象疾患の拡大・公費化と連携体制の刷新について」をテーマに講演した。

健康経営優良法人2026 「ホワイト500」に認定

「健康経営優良法人認定制度」は、経済産業省と日本健康会議が、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度である。このうち「ホワイト500」は、大規模法人部門に認定された3765法人（2026年）のうち、上位500法人に付与される認証で、本会は2021年から6年連続で「ホワイト500」の認定を受けた。

令和7年度第4回理事会を開催

3月23日、本会の令和7年度第4回理事会を開催した。理事会では、理事長の久布白兼行を議長に、令和8年度の事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資等の見込みなどの議案が決議され、いずれも満場一致で承認された。